

開催しました



2024.11.10 (日)

会場：大和川酒造・北方風土館

参加者：40名

第19回福島漢字探検隊



福島県喜多方市は「漢字のまち喜多方」として、漢字に関する活動を行っています。

今回は喜多方市にある「大和川酒造・北方風土館」にて、酒造りからできた漢字の成り立ちを学びました。

12時半から開催されたワークショップは「楽篆工房」、「喜多方を漢字のまちにする会」の方々にご協力いただき、紙芝居や、おみくじ、オーナメントの作成など魅力たっぷりで、おみくじに書かれた漢字に大人も笑顔を見せていました。また、当日飛び込みで参加された方も、もくもくとオーナメントを作成し、嬉しそうに写真におさめる姿が印象的でした。

後藤先生の「成り立ちとつながりで学ぶ漢字」、澁澤先生の「四字熟語でたどる古代の酒文化と漢字」は、大人が熱心に耳を傾け、時が経つにつれて変化してしまった四字熟語の本当の意味に「なるほど」と深く感銘を受けていました。

遠くは宮城県から参加してくださり、濃い時間を過ごすことが出来ました。

ワークショップは大にぎわいでした



漢字紙芝居



柿渋塗り切り抜きはがき



漢字おみくじ



古代文字べっこうあめ



古代文字かるた



圧巻のオーナメント

参加者の声

ワークショップはもちろん、紙芝居や体操などもりたくさんで楽しかった。

漢字の成り立ちに興味があり、ずっと来たかった。ようやく参加が出来て良かった。

手作りの紙芝居が楽しかった。蒼顔さんの目の見せ方が面白かった。

寒い中
たくさんのご来場
ありがとう
ございました

